

内科学学校健診のポイント

広島市医師会学校医委員会

平成22年10月

はじめに

学校という場の内科健診は、疾病や異常の発見だけでなく、健康の保持増進を目的とした健康状態の把握で、問題のあるもの、疑いのあるものを選びだすスクリーニングであることを念頭においておく必要がある。

内科健診実施上の主なポイントをあげてみる。

I. 栄養状態のチェック

全身の皮膚色や光沢、貧血の有無、必要に応じて肥満度、皮下脂肪厚を検討する。

貧血の有無は、全身の皮膚色の蒼白度、眼瞼結膜等をチェックする。

II. 頭頸部のチェック

頸部の腫瘍、リンパ節等をチェックする。甲状腺のチェック。

III. 脊柱、胸郭のチェック

脊柱の可動性、脊柱の変形、胸郭の変形等をチェックする。

側わん症は前屈テストを必ず実施すること。(下図を参照)

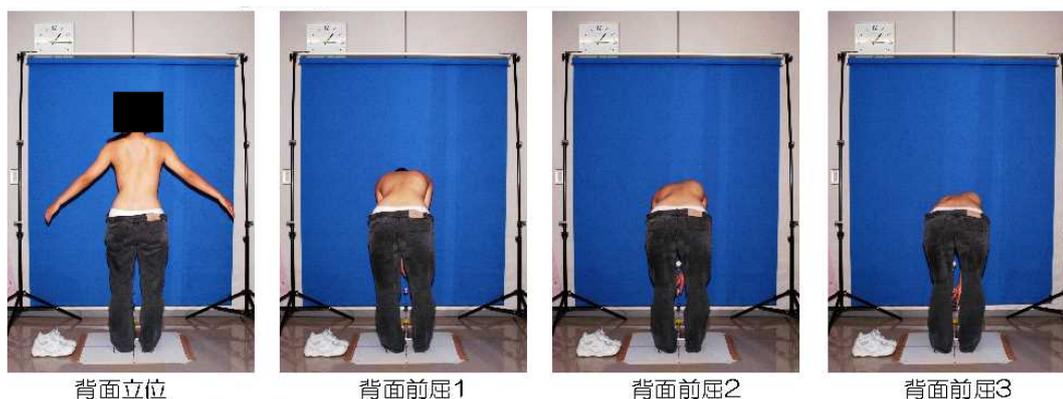
IV. 胸部疾患のチェック

保健調査での症状、呼吸音の異常のチェック、心音、心雑音及び不整脈の有無をチェックする。

V. その他の内科的疾患のチェック

結核感染にも留意する。

※ 健診時には児童・生徒のプライバシーを尊重し、できるだけ口頭では疾患名を言わないように配慮する必要がある。(右記の内科健診疾患番号参照)

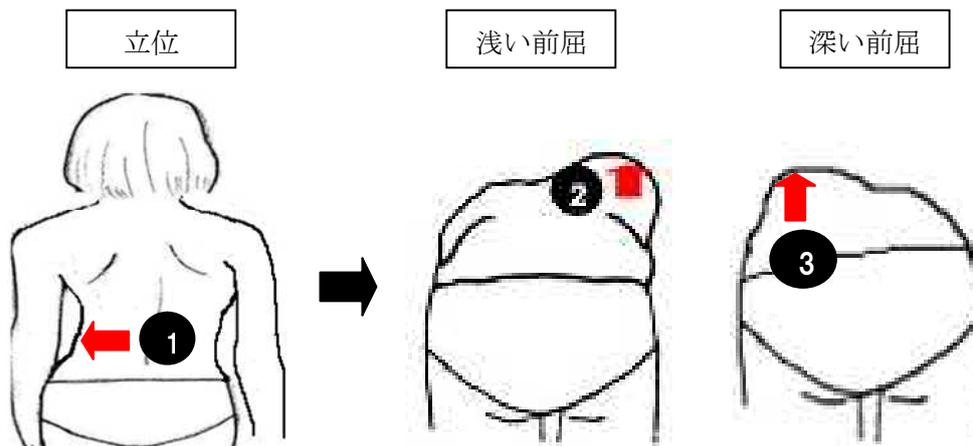


背面前屈1

背面前屈2

背面前屈3

背面前屈4



《姿勢検診 視診の場合の4つのポイント》

- ①立位背面からの曲線の左右差
- ②前屈背面（浅い前屈）からの背部の高さの違い
- ③前屈背面（深い前屈）からの背部の高さの違い

内科健診疾患番号（例）

但し、学校によっては疾患番号が異なる場合もあります。

- 1. 低身長
 - 2. 肥満傾向
 - 3. るいそう（低栄養）
 - 4. 脊柱側弯症
 - 5. その他の脊柱異常・胸郭異常
 - 6. ①皮膚疾患 アトピー性皮膚炎
 - ②皮膚疾患 感染性皮膚疾患
 - ③その他
 - 7. ①心臓疾患 心雑音
 - ②心臓疾患 不整脈
 - 8. 喘息
 - 9. 貧血
 - 10. その他の疾患・異常
- } 定期測定の数から算出された基準で判定することが望ましい